

## 編集後記

今年度、事務局をさせていただいてから各校の特色ある取り組みと先生方の熱心なご指導を改めて知り、頭の下がる思いです。昨年末からの未曾有の経済危機で次年度以降の就職については非常困難な状況も考えられますが、この時代だからこそ工業高校としての優位性を生かし前途ある若者たちの未来のために工業教育を考え実践していかなければならないと思います。正しく今年度から始まった「ものづくり産業担い手育成モデル事業」などは企業と学校の新しい関係を構築し、本県の工業教育が新しい段階にステップアップするための取り組みであると思います。

最後に日常の授業やクラス経営、部活動や校務分掌といったルーティーンワークの他に、ものづくりと寝食を忘れ生徒と共に活動されている先生方、ご自愛頂き次年度以降生徒のために頑張ってください！

平成20年度工業部会事務局